令和３年２月５日発行　毎月１回５日発行　オイスカ通信 685 号　昭和 42 年 12 月 27 日　第三種郵便物認可　別紙

公益財団法人 オイスカ

FURUSATO！ ２月号

～オイスカ四国のふるさとづくり～

年末年始　ホームステイ
～日本のお正月を体験できました。～

毎年研修生は、会員様のお宅にお邪魔して年末年始を過ごさせてもらっています。今年は研修中の研修生、帰国できずにいる研修生計５名を12月29日から１月３日の６日間、受け入れてくださいました。

例年は、年末前に帰国する研修生がほとんどでしたので、今いる研修生は貴重な体験ができたと思います。そんな彼らからホームステイでのコメントをもらいました！

受入れ先　瀧口　修薫　様

私はまんのう町にある西念寺でホームステイをしました。最初は緊張しましたが、皆さんが温かく迎えてくれたのでうれしかったです。家でたくさんテレビを見ました。センターでは、ほとんどテレビを見ません。面白かったので、センターでも見ようと思います。

元日の早朝、お寺の鐘を鳴らす体験もできました。鐘はとても大きかったです。おせち料理も食べました。いろいろな種類の食べ物が入っていて、全てに意味があるのだと教えてもらいました。

フィジーとは、違うお正月を過ごすことが出来て貴重な体験だったと思います。瀧口さん、ありがとうございました。

（メレ）

受入れ先　稲木　健造　様

私がホームステイした家族は、とても優しかったです。本当の家族みたいでした。お子さんが帰省し、みんなが揃ってから年越しの準備を始めました。さしみを切ったり、そばを作りました。初めてそばを作って難しかったけど楽しかったです。

１日は、お父さんと一緒に歩いていろいろなお寺へ行きました。その後は餅つきをしたり、外にある風呂（露店）に入りました。とても美しくて、気持ちよかったです。

モンゴルと日本ではお正月の過ごし方が全然違うので体験できてよかったです。

６日間、お世話になりました。とても楽しい時間を過ごせました。コロナが収まったら是非モンゴルに来てください。今度は私がおもてなしします！（ネモチ）

受入れ先　神野　きくみ　様

神野さんの家へ行って最初にアップルパイを作りました。12月29日はお父さんの誕生日だったからです。その後は買い物をしました。

次の日は、一緒にギョーザを作りました。エビ入りと豚肉入りの２種類を作りました。皆で作るのは楽しかったです。エビのギョーザは初めて食べましたが美味しかったです。

他にも、善通寺や城山へ行ったりして日本の文化や自然を体験して楽しい時間を過ごすことが出来ました。

ホームステイで新しいことを勉強することが出来ました。１週間があっという間でした。いつも神野さんは優しかったです。ありがとうございました。

（プロイ）

オイスカ連携プレー　～農産物生産から加工品が出来上がるまで～

①自慢の卵

四国研修センターのニワトリの品種は純国産鶏の「もみじ」です。エサは遺伝子組み換えではないトウモロコシをメインに、うどんの出汁殻などを自家配合して、発酵させたものを与えています。

開放的な平飼い鶏舎では、ニワトリが日光を浴びながら、自由に走ったり飛んだりすることができ、メスだけではなくオスも一緒に暮らしていますので、当センターの卵は有精卵！自然に近い環境で生き生きしているニワトリの卵を、ぜひご賞味ください！（安部）

鶏舎の各部屋には、日光が直接浴びられる空間があります。

②かがわブランド「さぬきの夢」

香川県産の麦「さぬきの夢」。センターでは野菜と米の他に、毎年20ａの面積で、さぬきの夢を有機栽培しています。

オイスカの養鶏場から出た鶏ふんやセンターで作ったボカシと液肥を使用しています。栽培は難しいですが、収穫した小麦には甘みと香りがあります。

香川県の温暖な気候と小雨は、上質な小麦の生産に最適です。オイスカ産の有機野菜と共に有機小麦はいかがですか。（デニス）

③センター名物　シフォンケーキ

センターという名の大自然で育った卵と小麦粉をふんだんに使っているため、ふんわりでしっとりと仕上がっております。また、ホウレン草やカボチャが入ったシフォンケーキなど種類も豊富。今後も皆さんに喜んでいただけるような、新商品を開発していこうと思います。（金澤）

本の紹介

今年の３月で10年の節目を迎える「海岸林再生プロジェクト」（東日本大震災の津波で消失した、宮城県名取市の海岸防災林100ヘクタール再生するプロジェクト）。元日本経済新聞論説委員の小林省太さんが10年間のプロジェクトに密着して、100人以上にインタビュー取材を重ね、その記録として「松がつなぐあした」を昨年12月に発売しました。

プロジェクトを進める被災農家や地元の人々と共同で実施したオイスカの活動を追ったドキュメントを掲載しています。是非お買い求めください。

価格：¥1430（税込）

２月の予定

月日	曜日	イベント名	主催・協力	場所
２月２日	火	技能実習生アニ　基礎研修修了式	四国センター	四国センター
２月３日	水	技能実習生アニ　配属 支部常任幹事会	㈲福井園芸 四国支部	㈲福井園芸 四国センター
２月４日	木	全体会議	四国センター	四国センター

「FURUSATO！」２月号　発行
公益財団法人　オイスカ四国研修センター
〒761-2103　香川県綾歌郡綾川町陶 5179-1
TEL　087-876-3333　FAX　087-876-3334
E-mail; oiscastc@oisca.org

OISCA × VALUE BOOKS

古本で！
「子供の森」計画サポートプロジェクト

～私たちの国の新型コロナ感染状況～

全世界で流行している「新型コロナウイルス」（以下、コロナ）日本でも大きな影響を及ぼしていますが、世界ではどのようなことが起こっているのでしょうか。今回はセンターにいる外国人スタッフ、研修生に母国でのコロナの状況について紹介してもらいます。

タイ

タイのコロナ感染者は日々増加しています。1日300人ぐらいが感染してます。現在は計15000人以上が感染しています。

政府は、中国から200万個のワクチンをもらいました。お金持ちの人から接種をしています。また居酒屋やデパートも休業したり、営業時間を短くする活動をしています。スマートフォンからのアプリで、その人の行動を追跡し、感染した場合、その経緯などを推測しやすくするものもあります。

少し前に変異種のコロナも見つかっています。そこで政府は2か月に1回1人当たり12000円を給付しましたが、国民は生活ができないと不満を持っているようです。一部の高齢者は給付金をもらっていません。不景気で工場が閉鎖され、失業者も増えていっている現状です。（プロイ）

モンゴル

最近までコロナの感染者がいませんでしたが、2020年12月にアメリカから帰ってきた人がコロナに感染し、少しずつ増加しています。今までに1600人の感染者がいます。

1日に5～10人が感染していますが。日本に比べると少ないですが、モンゴルの人口は少ないので、とても心配です。

政府から1つの家族につき4万円もらうことができました。日本では1人10万円もらうことができたので、驚きました。

私は12月帰る予定でしたが、飛行機が運休となり、まだ帰れません。1か月に1回大使館が救援機を出してくれますが、その情報がいつくるか分からないので毎日チェックをしています。2月の飛行機に乗れるようにしたいです。

皆さんも気を付けて元気に頑張りましょう！（ネモチ）

病院では、医者が完全防備をして患者と接しています。

フィジー

フィジーのコロナ感染者は計55人です。そのうち、53人が回復していて、2人は亡くなりました。現在感染者は見られませんが、いつ再び感染するかわかりません。今も夜間の外出止令が発令されていたり、気を緩めることなく生活しています。

コロナが増えていた時は、就いていた仕事を辞め自分で農業を始めた人もいたそうです。

私は12月に帰国する予定でしたが、フィジーまでの飛行機がありません。早くても4月だそうです。早くコロナが収まってほしいです。（メレ）

インドネシア

インドネシアでは、2020年3月に最初の感染者が見られました。留学でインドネシアに来ていた人です。それから徐々に感染者が増えています。

現在国民は、マスク着用、手洗いうがい、消毒の徹底、ソーシャルディスタンスなど心がけています。しかし、収まることはなく、感染拡大の影響で経済は衰退していっています。コロナの存在は多くの人々に影響をもたらしてます。今までできていたイベントなども中止になっています。（技能実習生　アニ）

PCR 検査風景

マレーシア

マレーシアで感染者が最初に見つかったのは、2020年1月のことです。観光で来ていた中国人が持ってきました。当時はまだ拡大していなかったけど、3月にクラスターが起こり、その時に首相が「活動制限令」を発表しました。これによりほとんどの雇用産業は閉鎖されました。給料が払えなくなり人を解雇したり、そのまま会社が倒産することが多くなりました。少しずつ回復してきたと思ったら第2波が起こり、今も不景気に陥っています。

現在、感染者は計17万人です。死亡者も630人を超えています。感染拡大防止のために、マスクをしていない人がいると罰金3万円を支払うことになります。早くコロナウイルスが世界から消えることを心から願っています。自分の身は自分で守りましょう。（ビアン）

フィリピン

フィリピンでは、新型コロナの感染者が全部で50万人がいます。毎日1000人以上が感染しています。本当はフィリピンに帰る予定でしたが、コロナが怖いので諦めました。年に一度、娘に会える機会だったので残念です。

娘のことを思いながら、毎日農業を頑張っています。新しく貸していただいた畑の開拓をしたり忙しい日々を送っています。

長い間使われていなくて、大きな草や木を伐採するのに1ヶ月間ぐらいかかりました。今年は、大きな収入を得るために、より多くの野菜を植えることを決定しています。まだコロナウイルスが残っているので、今年も安全で健康な状態を保つように気を付けましょう。（デニス）

センターでも新型コロナ対策をしながら研修を行っています。

隔離期間でのオンライン授業！

昨年12月と今年1月に技能実習生が2名入所しました。センターで、初めて入所してから2週間の隔離期間研修を行ないました。隔離するために廊下にパーティションを設置し、部屋の外に棚を置き、食事を運ぶ、もちろんお皿は使い捨てです。幸いにもセンターには2階に個別シャワールームがあり、トイレも2箇所あるので、従来住んでいる研修生と分けて使うことができました。

研修生は毎日体温を計り、スタッフに報告しました。初めてのオンライン授業は直接教えるのとは違い、研修生がどのくらい理解できているのかを確認するのが難しい部分もありましたが、なんとか行なうことができました。2週間後、隔離が終わり部屋から出てきた研修生は「ようやく出てこられた！」と嬉しそうな顔をしていました。（吉田）

オンライン授業

新型コロナに負けないで頑張ろう！